

## 資料1 【ジャストベース (JE I 型) に適用される新基準】

【重要事項】 (各項目は製品カタログ P19 に記載があります)

項目	JE I 型に適用される新基準	補足
異種構造との併用	異種構造との併用は評定範囲外とする	
階高の制限	階高2.5m未満は評定範囲外とする	
基礎柱型と基礎梁の段差の許容寸法	角型鋼管・円形鋼管用とも50mm以下とする	段差が許容寸法を超える場合は評定範囲外とする
基礎コンクリートの破壊防止等の確認	標準仕様の基礎柱型によらず、別途「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」により設計された基礎柱型は評定範囲外とする。この場合「基礎コンクリートの破壊防止等の確認」を行わなければならない	詳細については別途お問い合わせ下さい
柱脚の終局せん断耐力	「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」のせん断耐力式に準拠する 但し、基礎柱型が「一定の条件に該当する場合(注)」、アンカーボルトのせん断力によるコーン状破壊耐力を柱脚の終局せん断耐力の上限値とする	詳細については別途お問い合わせ下さい
コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) の上限値	コンクリート設計基準強度の上限値を定め、F <sub>c</sub> =21 N/mm <sup>2</sup> (機種により24 N/mm <sup>2</sup> ) ~30 N/mm <sup>2</sup> を適用範囲とする	但し、耐力式については F <sub>c</sub> =21 N/mm <sup>2</sup> (機種により24 N/mm <sup>2</sup> ) を使用している

(注) 「一定の条件に該当する」かどうかを、別紙の資料2【ジャストベース (JE I 型) せん断力の上限値の検討フロー】に従って検討して下さい

## 資料1 【ジャストベース (JE I 型) に適用される新基準】

### 【施工上の軽微な変更事項】

無収縮モルタル	●無収縮モルタルの材質は強度指定とする	材料指定から強度指定に変更した 施工寸法と厚みの施工誤差の寸法を変更した
	●施工寸法はベースプレートの寸法+60mm (片側+30mm) とする	
	●厚みの 施工誤差を-13mm~+10mmの範囲とする	

## 資料2 【ジャストベース (JE I 型) せん断力の上限値の検討フロー】

※現在ご使用の一貫構造計算プログラムで計算した結果、ワーニングメッセージが出ない場合は全く問題は無く、「せん断力の上限値」の検討は不要です。

ご使用の一貫構造計算プログラムで計算した結果、ワーニングメッセージ（軸力制限値を満足しない）が出た場合は、下記のフロー①～フロー③に従って検討を行って下さい。

フロー①：ワーニングメッセージ（軸力制限値を満足しない）が出た場合、ジャストベース (JE I 型) は保有耐力接合を満足しないため評定の範囲外となります。次ページの【表 1】「せん断力の上限値が適用される軸力値一覧表」を確認して下さい。



フロー②：終局時の設計軸力値が【表 1】の「せん断力の上限値が適用される軸力値一覧表」の軸力値よりも、引張り軸力が小さい場合、「せん断力の上限値」の検討は必要ありません。検討はこれで終了です。



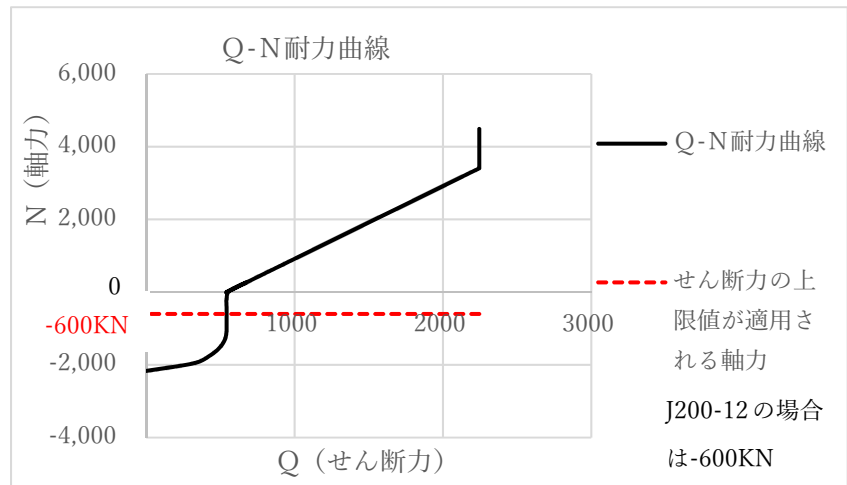
フロー③：終局時の設計軸力値が【表 1】の「せん断力の上限値が適用される軸力値一覧表」の軸力値よりも、引張り軸力が大きい場合は、「せん断力の上限値」が適用される可能性があります。この場合、メーカーにお問い合わせ下さい。

【表1】 「せん断力の上限值」が適用される軸力値一覧表

角型鋼管用	
製品	軸力値 (KN)
J150-09	-500
J175-09	-500
J200-09	-400
J200-12	-600
J250-09	-500
J250-12	-600
J250-16	-1,200
J300-09	-800
J300-12	-1,100
J300-16	-900
J300-19	-1,100
J350-12	-800
J350-16	-1,300
J350-19	-1,100
J350-22	-1,400
J400-12	-900
J400-16	-900
J400-19	-1,100
J400-22	-2,300
J450-16	-2,300
J450-19	-2,900
J450-22	-2,600
J500-19	-2,300
J500-22	-1,900
J550-19	-1,600
J550-22	-1,100

円型鋼管用	
製品	軸力値 (KN)
J216-13	-700
J267-13	-700
J318-13	-800
J355-13	-1,200
J406-13	-1,000
J406-19	-1,400
J457-13	-1,200
J457-19	-1,600
J508-14	-1,200

J 200-12 の場合の例



※上記の【表1】の軸力よりも引張軸力が大きい場合に限り「せん断力の上限值」が適用される可能性があります。この場合、メーカーにお問い合わせ下さい。